

地域とのかかわり ～ブルーベリー狩り～

今年も伊谷地区の栢木さんのご厚意により、畑でブルーベリー狩りを体験させていただきました。

小学部の子どもたちは、大きく実ったブルーベリーを見つけると、「あった！」
「大きいよ！」と歓声を上げながら、一つ一つ丁寧に摘み取っていました。友達や職員と「こっちにたくさんあるよ！」と声を掛け合いながら、夢中になって活動する姿が見られました。



また、栢木さんも子どもたちと一緒に収穫を手伝ってくださり、温かく見守ってくださいました。途中で水分補給を行いながら、安全に活動を進めることができました。

収穫したブルーベリーは、お家へのお土産として持ち帰りました。



地域の皆様とのふれあいを通して、自然の恵みに触れる貴重な体験となりました。ご協力いただいた栢木さんに心より感謝申し上げます。



ブルーベリー畑には、夕菅(ユウスゲ)の花も植えられていました。栢木さんから、「朝と夕方の涼しい時間にきれいな花を咲かせるんですよ」と教えていただきました。

訪れたのは日中だったため、残念ながら花は咲いていませんでしたが、この夕菅は、昨年のブルーベリー狩りでお世話になった栢木さんのお父様が



大切に育てておられた花だそうです。

地域の方々が大切に守り育ててこられた自然や花への愛情に触れることができるのも、この活動の魅力の一つです。いつか夕菅の美しい花も見てみたいと思いました。

